

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	51
2. 大学等名	工学院大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	全学部
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（391.5文字）
<p>日本の理工系大学においては、グローバルに活躍できる真の国際人育成が大きな課題である。この目標に到達するための第一歩として、本学は「ハイブリッド留学」プログラムを独自に開発した。その最大の特徴は、「語学の習得から」というこれまでの留学スタイルを脱却し、「まず海を渡る」ことを最優先させ、海外で暮らしながら国際感覚や英語力を養成することを最大の目的としている点である。</p> <p>本取組は、この「ハイブリッド留学」プログラムを抜本的に改革し、留学参加を希望する学生が自らの学力および社会人基礎力を踏まえて最も適切な時期に海外に行き、主体的な共同学修経験を積むことで、より大きな飛躍へとつなげられるよう全力で支援する方向へと大きく舵を切るものである。また、プレリクイジット制、クォーター制の全学実施などと連動することで、ハイブリッド留学の拡充が可能となり、全学的な教育改革を加速させるものとする。</p>	